

日本図学会 2024年度大会

東広島

2024年12月7日(土)・8日(日)

▶シンポジウム 12月7日 16:00～約2時間

図学が拓く新しい防災

最新防災システムと災害死0を目指す防災教育

▶学術講演発表 7日・8日 一般公開

▶全国高校生デジタルモデリングコンテスト(併催)
8日 10:30～記念講演 / 13:00～表彰式 一般公開・無料



詳しくは日本図学会 HP をご確認ください
◀ https://www.graphicscience.jp/event/104_list_detail.html

会場：東広島芸術文化ホールくらら



J R 山陽本線 西条駅下車、
徒歩約4分(広島駅より約40分)

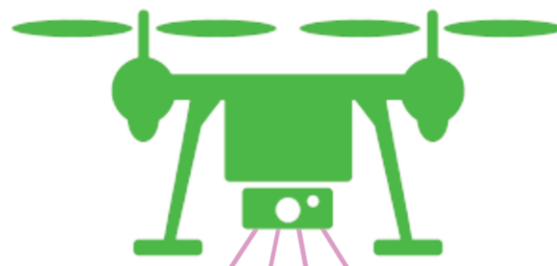
- 東京駅から約5時間
- 新大阪駅から約2時間20分
- 博多駅から約2時間

会場付近の観光スポット(徒歩圏)



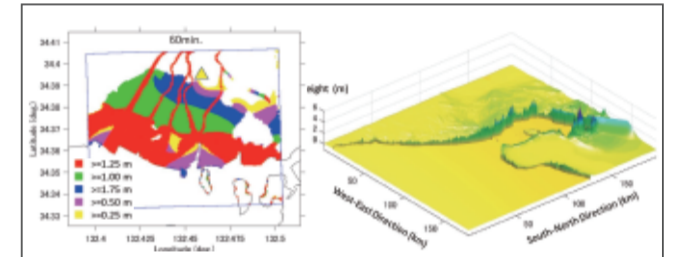
主催：日本図学会
 協賛：株式会社 計測リサーチコンサルタント
 一般社団法人コンピュータ教育振興協会
 日本3Dプリンター株式会社
 マイクロンメモリジャパン株式会社
 マツダ株式会社(50音順)
 後援：東広島市、東広島市教育委員会、
 広島県教育委員会、広島国際大学
 (50音順)
 お問い合わせ：日本図学会関西支部事務局
 Email: d-okada@hirokoku-u.ac.jp

能登地震の津波の高さを6年前に予測。地下街に押し寄せる津波、火災や建物破壊に対応し、災害死と関連死を減らすためドローンや各種情報、避難所、防災組織を工夫。国内外の第一線で活躍する研究者・企業・住民が新しい防災の展望や課題をわかりやすく解説し、皆様と議論します。



一般公開・無料

- ◆挨拶
 斉藤鉄夫 前国土交通大臣
 高垣廣徳 東広島市長
- ◆講演・討論パネラー
- 1) 国家強靱化に資する人材の育成とTKBチャレンジャー国内と海外の支援ー岡田大爾(広島国際大学)
 - 2) 能登半島地震の6年前の検討と実際の被害から学んだこと 大堀道広(滋賀県立大学)
 - 3) 3D-CGによる都市空間モデルを活用した津波避難シミュレーション 安福健祐(大阪大学)
 - 4) 地域の災害状況を可視化する防災教育ARアプリを活用した地域防災の取り組み 吉田大介(大阪公立大学)
 - 5) 土砂災害の早期避難意識を高めるクロス情報の提案 竹野英敏(広島工業大学)
 - 6) 防災組織作りの成果と課題 八本松自治協議会・東広島市危機管理課
- ◆挨拶
 焼廣益秀 広島国際大学前学長(現相談役)



広島中心街への津波浸水深度シミュレーション(左)
能登半島地震津波の高さも6年前にほぼ正確に予測(右)



津波の時、車いすの人がエレベータに到達しづらいことに気付かせる地下街避難シミュレーション



仮想的な災害をARでリアルに体験しながら、まちの災害リスクを確認する防災ARまち歩き



土石流や断層の崖を自由に拡大して気づきを位置や拡大率と共に記録し、議論・評価に活用